

懇親会にOB、学生60人参加

硬式野球部

毎年恒例の大分大学硬式野球部のOB会が平成28年11月19日（土）、大分市のトキハ会館で開かれた。この日の気温は20度と温かく、OB、学生あわせて60人が参加。

まず阿部通正氏（経・S53年卒）が「ホノルルマラソンへ

の挑戦」と題して講話。その後、懇親会に移り、森昌哉幹事長（経・S46年卒）が開会宣言。帆足三郎会長のあいさつに続き、長吉勇典野球部主将が現状報告した。そして、奈良県から参加の志波計介氏（経・S46年卒）の音頭で乾杯。OBと現役学生が和やかに懇談した。途中、OBの皆さんが高い出話や

近況報告など一言スピーチを行つた。最後に、白佐敏朗事務局長が締めの言葉を述べ、散会。

2日目の20日（日）は、旦野原グラウンドでOB戦や現役選手との交流戦を楽しんだ。試合に先立ち、開会式を行い、帆足会長から長吉主将に活動助成金が授与された。記念撮影の後、

由布と鶴見の両チームに分かれ、7イニング90分で第1戦が行われた。

テンポのいい熱戦を展開。由布チームの4番・本田（工・平成23年卒）が2塁打2本を放ち3打点を挙げ、MVPに輝いた。68歳の志波が3回をピシャツと抑え、打つては三遊間を破る

適時打を放つなど投打に大活躍。また、珍プレーもあって大いに盛り上がった。

試合終了後、表彰式があり、帆足会長が賞品を授与。そのあと、グラウンド横の広場で弁当を食べ歓談した。

（辻本豊 記教・S50年卒）



2日目は大分大学のグラウンドでOB戦を楽しんだ